

# 令和4年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

府中市立府中第一中学校

教科：理科		
生徒の学習状況	1年	前向きに学習に向かい、授業も落ち着いて受けることができている生徒が多い。身の回りの科学への関心も高く、実験や観察にも積極的に取り組んでいる。ノート整理など学習環境を整えることが不十分である生徒が一部いる。
	2年	教室や実験の授業の際、生徒同士で考え、取り組む時間を意識して設けている。自由発言や、話し合いも積極的に取り組む生徒が多い。
	3年	授業の中で「自分の考え」を書く時間を大切にしている。章を貫く「問い」をつくらせる時間を設け、章の終わりには時間をかけて解答している。問題演習は、各自のペースで取り組んでいる。
現状の課題	1年	話し合い活動では論理的に考えようとする生徒がいる一方で、思考が浅く、他の意見を聞くだけになってしまう生徒もいる。授業の振り返りを毎授業で書かせているが、十分に時間が取れないことも多く、フィードバックできていない。
	2年	話し合い活動の際に、じっくり考え、意見共有できる生徒がいる一方、状況がうまくのみこめず、思考が不十分な生徒がいる。
	3年	章を貫く問いを、適切に立てさせること。学習した概念を具体物に結び付けて考えること。発問の内容によって「自分の考え」を書くのが難しい生徒がいること。
具体的な改善のための方策	◎主体的、対話的で深い学びの視点から	
	1年	自分の考えをもってから、他者と話し合えるよう活動の内容を精査し、適切な課題を与えていく。予想や仮説を立て、目的意識をもって実験観察に取り組ませ、考察するときには自分の考え（結論）がもてるように支援する。
	2年	自分の予想をする時間と班員などまわりの意見を聞く時間を設け、考えをより幅広く持てるようにしている。実験では、実験方法を班員と協力し進めていくことを重視している。
	3年	生徒同士相談を行い、お互いに学び合える時間を充実させる。理科の「見方」「考え方」をはたらかせながら、科学的な規則性と身の回りの現象を結び付けた学習を充実させる。
	◎学びに向かう力等を育むための視点から	
	1年	毎時間の振り返りを確実に取り組める仕組みをつくる。生徒用タブレットを利用して、自宅で復習しながらまとめを記入することも可能にする。一括管理できることで、生徒同士内容を共有しフィードバックできる機会を増やす。
	2年	小單元ごとの確認テストでは、自己分析をさせている。定期的に到達度を自ら確認することで、今後の学習の予定を立てる指標にしていきたい。
	3年	毎時の振り返りで、生徒自身が自分の学んだことについて振り返る時間をとることで、自己の学びを調整させていく。